

2008年2月1日発行



そよかぜ



日本医療機能評価機構認定病院
医療法人 明芳会
佐藤病院



昨年11月に『マルチスライスCT装置：東芝製』を導入しました！
詳しくは「トピックス」のコナでご紹介します

理念

温かみのあるよりよい医療と福祉を提供します。
職員は互いの向上をはかります。

患者さまの権利の尊重

医療の内容を知り、選択する権利を尊重します。
プライバシーが守られ、公正な医療を受ける権利を尊重します。

平成19年度 基本方針

安全で質の高い医療と福祉を提供します。
快適な療養環境と職場環境をつくります。
経営の効率性と透明性を高めます。
地域と連携して疾病予防と健康増進に努めます。

目次

- ・ 必要とされる看護師に
- ・ 地域連携
 - < 岡山赤十字病院 >
- ・ 中学生職場体験
- ・ 介護日記
- ・ トピックス
 - < マルチスライスCT >
- ・ いきいき < 絵手紙クラブ >
- ・ お知らせ
 - < 病院機能評価認定 >

必要とされる看護師に



看護部長 金見 一二三

H18年度診療報酬改定で新設された、入院基本料7対1の届出医療機関は、H19年5月時点で814施設であると厚労省の調査で明らかになりました。多くの病院が上位基準を取得し、急性期病院がより高い看護職員配置を実現したと言えます。

看護職員の手厚い配置により、看護職の待遇や労働環境が改善され、看護職離れを防止できればと期待します。しかし、逆に7対1の煽りを受けて、看護師不足に頭を悩ませている施設も多いのが現状です。当院も一昨年から、新卒の採用が減少傾向にあります。採用が厳しいなら、いかに定着させるかが課題となります。新人教育にプリセプタ - 制(*)を導入や、個々がやりがいを持って働く為の目標管理の導入を行っています。更に、院内・外への研修参加によりキャリアアップを推奨しています。厳しい医療環境が続く中で、院内保育も30年以上継続して実施するなどの努力をしています。新卒で就職し、家庭を持ち、ママさん看護師として頑張っている人や、子育てしながら復帰を希望する人の援助になっています。



ここ数年、新卒の採用が減少しているとは言え1、2名はいますが、1年以内の離職がないことを嬉しく思っています。後輩が看護職に多くの期待や不安を持ち、私たちの組織に飛び込んできます。しっかり受け止め、共に成長してゆき、患者さまにも、スタッフにも必要とされる看護師になって欲しいと思っています。その為には、専門職として個々の成長に責任を持ち自分の行った看護に自信が持て、やりがいを感じられる良い仕事をして貰いたいと期待し、支援しています。

社会の変化や国民の意識の変化に合わせて、私達も意識改革が求められています。変化する社会の中で、患者さまに喜ばれ、地域に必要とされる組織作りに職員は一生懸命努力しています。その成果が、昨年7月に受審した「病院機能評価認定更新」の審査結果にも出ました。



看護管理者として、組織の最多数部門が持つマンパワー - を病院運営にどう活かしてゆくかが今後の課題であります。



『看護の難しいところは、個々の人間性や感性、思いで提供されるケアの質が違ってくる。ゆえに、良質の看護の実施に価値を見出し、その価値観を共有し、心から患者様の役に立ちたいと思えなければ質を向上させることは望めません』...多羅尾先生の著書を読んだ時にこの言葉にとっても共感しました。そのことを日々の実践行動を支援しながら、職員に伝え続けてきました。

看護師不足を嘆いても現場の問題は何も解決しません。量より質を向上させることにエネルギー - を注ぎ、職員一人ひとりが元気で活発に行動できる組織風土・職場環境作りに努力して参りたいと考えております。

今年も佐藤病院グループを宜しくお願い致します。

(*)プリセプタ - 制とは、一人の新人(Preceptee)に一人の先輩看護師(Preceptor)が付き、ある一定期間においてマンツ - マンで教育指導を行なう指導方法

岡山赤十字病院



整形外科スタッフの皆さま

皆さん、こんにちは。

私たちは岡山市青江にあります岡山赤十字病院の整形外科スタッフ一同です。

当院は「信頼され親しまれる病院に 手をつなぐぬくもり - 地域とともに - 」という理念のもと地域の皆さまに医療を提供させていただいております。また救命救急センターや基幹災害医療センターなどの機能も担っております。

佐藤病院の皆さまとは、平成18年10月より大腿骨頸部骨折の治療において地域連携医療でお世話になっております。整形外科領域では大腿骨頸部骨折の手術において、手術後のリハビリテーションが必要な症例がほとんどです。今までは急性期病院と回復期病院がばらばらに治療を行ってきたために「退院して元の生活に戻れるのか」「急性期病院での入院期間は短くいつ追い出されるのだろうか」と入院生活の中で不安を訴えられたり、患者さまが一貫した治療を受けられない状況がありました。

しかし、このたび地域連携パスを作成し、複数の病院で共通の治療計画を立て、それを共有することで、患者さまがどの病院でも均一の医療を受けられるようになりました。地域連携パスでは急性期病院で主に手術治療を受け持ち、術後2～4週間で病状が安定したら、その後は回復期病院に治療の場を移し、受傷前の歩行能力の獲得、日常生活動作の向上、機能回復を中心にリハビ



岡山赤十字病院での入院生活

医療の 地域連携 輪



このコ-ナ-では近隣の医療・福祉施設と当院との連携をご紹介をさせていただいております。

今回は地域連携医療パスで大腿骨頸部骨折の患者さまをご紹介いただいている「岡山赤十字病院」のご紹介です。

リテーションを実施していくというものです。また、その後自宅退院、住宅改修、介護サービスの申し込みなど在宅復帰への支援や、施設入所の相談などを行なっていきます。急性期病院から回復期病院へ継続した医療が受けられる流れを作り、佐藤病院さまをはじめ、地域の医療機関とのネットワークを築くことができ、皆さんの不安を少しでも軽減し、よりよい医療が提供できるようになってきたように感じます。現在、定期的に運用会議を開催し、地域連携パスの改善のため活発な議論を行っています。当院

は急性期医療を、佐藤病院さまには回復期医療を担当していただいておりますが佐藤病院さまは熱心にリハビリテーションをしていただける病院であると患者さまから評判が多数あり、私たちは安心して患者さまをご紹介させていただいております。



佐藤病院でのリハビリ風景

今、佐藤病院さまをはじめとする、地域の医療機関のおかげで患者さまやご家族の気持ちを理解した対応や精神的フォローができる環境づくりができ、とても感謝しています。これからも患者さま一人ひとりとの出会いを大切にしながら、そして一人でも多くの患者さまに安心して療養生活を送っていただくことが私たちの願いです。今後とも地域の皆さまにより良い医療を提供していけるよう交流を深めながら歩んでまいりたいと思いますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

所在地

住所 〒700-8067 岡山市青江2-1-1
 TEL 086-222-8811
 FAX 086-222-8841
 URL <http://www.okayama-med.jrc.or.jp/>
 E-mail oka-rcgh@okayama-med.jrc.or.jp

診療科目

内科 循環器科 精神科 神経内科 小児科 外科
 整形外科 リウマチ科 脳神経外科 皮膚科 泌尿
 器科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテ
 ション科 麻酔科 放射線科 歯科 形成外科





佐藤病院グループでは中学生の職場体験の受け入れを行っています。
毎年、佐藤病院通所リハビリテーションや老健施設やすらぎにて患者さまとのふれあいを体験していただいています。
学生さんの素直な感想には私たち職員も大いに刺激を受けています。



生徒さんの感想…

「やすらぎ」に来て、みんな楽しく触れ合っていたので、すぐになじむことができました。施設名のとおり心が「やすらぎ」ました。

初めは高齢者の人と話す事は、ちょっと大変だったけど、利用者さんがみんな笑顔なので、僕も笑顔で話したり、ゲームをすることができ楽しかったです。

3日間、職場体験を通して、人と接することの大切さがとても分かりました。その中で楽しく話げできたことがいい体験になったと思います。言葉ではとても表せませんが、とても重要なことを学ぶことができたと思います。

芳泉中学校
2年 稲垣 優

私は「やすらぎ」に来て、思っていたより明るくて、楽しい所だなと思いました。職員の方は、私が入所者の方に話しかけやすいようにフォローしてくださったり、いろんな指示を出していただき、とても感謝しています！

1日目は本当に緊張して、ずっと立っただけで、全然ダメでした。どちらかというと迷惑ばかりかけたような気がします。でも2日目はがんばりました。職員の高畑さんが何回もフォローしてくれて、入所者の方とたくさん話すことができました。けっこう働くのは楽しいなと思いました。3日目は午後から仕事をたくさんさせてもらいました。でもあんまり話しかけたりすることはできませんでした…。

私はこの3日間で感じたことは、看護師さんたちはみんな声が大きくて明るいなということです。そして、いつも笑顔で楽しそうだなということです。私は今後、社会で働くうえで、「笑顔」と「明るい雰囲気」「大きな声」この3つのことを心がまえとしてやっていきたいと思います。(まだまだ先のことですが…)本当に良い体験をさしていただき、ありがとうございました！！

芳泉中学校
2年 工藤 遥



職員よりひとこと

1月7日～9日までの3日間、芳泉中学校の2年生が職場体験学習に3名来られました。

最初は、不安と緊張で表情もこわばっていましたが、朝、利用者さまが来られたときにお茶を出したり、入浴後に髪を乾かしたりと利用者の方へ関わっていくうちに、少しずつ打ち解けてきました。

集団レクリエーションでは、利用者と一緒に楽しい雰囲気作りができました。また、ちょうど誕生会もあり職員と一緒にお祝いをしました。皆さんこの体験がとてもよい経験になったと感想を述べられていました。学生さんの中には将来医師や看護師になりたいという人もあり、この経験がよい学びになり、そのお手伝いを私たちがさせていただけたことをうれしく思います。



いっしょにトランプ！



いっしょに体操！



おしほりをどうぞ！



靴を履きましょうネ！



このコナはご家族を介護していらっしゃる方に、やりがいやご苦労話など日々の介護において感じていることをお聞きしています。

今回は佐藤病院グループの各施設をご利用いただいている片山龍子さまの息子さんにご寄稿いただきました。



「母の有り難う」

片山 幹雄

「ピ - ポ - ピ - ポ - 」

母と私を乗せた救急車はR病院へ向け早朝の児島湖堤防を直走っていた。思えば19年3月22日、この日を境に我が家の生活は一変した。

R病院から4月3日にK病院へ転院、胃癌と診断された。高齢及び認知症の為、リスクが大きいので手術はしないとの説明を受ける。しかし、それでどうすると問われても、母の余生を左右することにすぐ結論を出す訳にはいかない。母にとって最適なことは何か、これからどうすればよいのか。数日かけて、兄弟で堂々巡りの思案をする。結局、母の年齢を考え、これ以上辛い思いをさせるのは止めようその代わり母が何の不安も感じず、安らかに日々を過ごせるよう、何時も傍らに居て、出来る限りの介護をさせてもらおうと決心した。

4月17日に佐藤病院の居宅介護支援事業所に相談し、4月20日には佐藤病院へ転院することが出来た。食欲も体力も落ちていた母がきめ細かな看護、リハビリにより入院から10日余りで食事は殆ど食べられるようになる。又、再三訴えていた腹部痛、胸部痛も改善された。体調が良くなってくると歌を唄う気力も出てきた。K病院から通算して59日目の5月31日に退院することが出来た。



「がんばらない介護」を新聞、テレビ等で見聞きする。しかし、とてもじゃないが、がんばらなければ介護は出来ない。

母は平成15年9月に2度目の大腿骨骨折を起こしている。私は翌年3月に仕事を辞め母の介護を始めた。当初、要介護であったが認知症が加わって介護の負担は年々重くなり、現在では母の生活の全てに介護が必要になっている。特に負担に感じていることは母の下痢である。時には1時間毎におしめを交換することもある。夜中1人でその始末をしていると、つつい弱気になってしまう。しかし再三の下痢でお尻が赤く爛れ、しみて痛がる母を見ると「ガンバレ」と自分を叱咤している。

昨年5月31日に退院して以来、2度短期間入院したことはあるが、佐藤病院グループ各施設の多くの方々に助けられ、又、母の「幹ちゃん有り難う」の言葉とその笑顔に勇気付けられ、今日もがんばって介護をしている。



いつもやさしい眼差しでお母さまの傍に付き添う息子さん



老人保健施設「やすらぎ」の通所リハビリをご利用の片山さま

病院スタッフより一言

佐藤病院にご入院中は、毎日お母さまの病室を訪室されておられました。いつも傍で話しかけられ、手を握り、身体をさすり・・・看護師には真似のできない、家族ならではの愛情と優しさを感じていました。また、ご家族の方々もたびたび来られ、アットホームさが伺えました。

これからも、少しでも介護される方の力になれるよう、お手伝いをさせていただきたいと思っております。





今回のいきいき作品は、佐藤病院グル - プの介護付有料老人ホ - ム「あいらの杜 福吉」で行っている絵手紙クラブを取材しました。



「あいらの杜 福吉」では、午前中に近所への散歩・体操・レクリエーション、午後は個々にパズル・ゲームなどをされて日々の生活を楽しまれています。

それでも中には、「退屈だ」「する事が無い」等の声も聞かれ、入居者の方に、もう少し気分転換をして、充実感を味わっていただきたいと思い、何か良いことはないかと考えていました。職員でいろいろなクラブ活動などを試し、試行錯誤した結果、絵手紙を勧めてみてはということになりました。

絵手紙なら、誰でも楽しめ、身体能力に関係なく参加ができ、絵の苦手な人でも取り組みます。また、短期間に作品が完成するという利点もあります。

早速、皆さんに紹介し、挑戦していただきました。

～ 絵手紙ができるまで ～

下書きをする

季節感のある物を参考に自由に描いてもらう



貼り付ける

出来た絵をはがきに貼り宛名書きする



色付けする

絵の具、クレパス、墨等で色を付ける



郵送

完成した作品を家族・友人・知人に送る



この絵手紙を作る時に一番困られたのが、下書きのようでした。「何を描いたらいいかな?」「絵は下手だから...」「絵なんて描いたことがないわ~」などと、皆さん悪戦苦闘されていました。

宛名書きでは「誰に出したらいいかな~」「家族には、はずかしいな~」など、できた作品を送ることには、みなさん少し抵抗があるようでした。それでも「作品を見て家族が誉めてくれたよ!」「長年会っていない友人、知人から返信が来たよ!」などと、いろいろな反響があって、みなさんとても喜ばれていました。

これからも入居者の方に気軽に参加して頂けるような楽しい催し物を考えていきたいと思いません。



佐藤病院では昨年11月にCT装置を更新し、マルチスライスCT装置を導入いたしました。

マルチスライスCT装置導入



マルチスライスCTとは・・・???

この度導入したマルチスライスCTでは、X線検出器を増やすことで、これまでのCTに比べて、短時間でより多くの断面の画像を撮影できるようになりました。

同時に多くの断面を撮影できることから、撮影時間が大幅に短縮され、以前のCT装置より鮮明で精細な画像情報が得られます。頭・胸・腹・手足など全身の疾患に対して有効です。



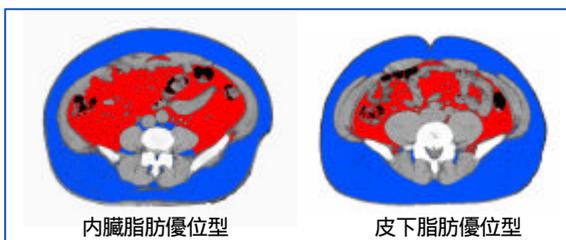
マルチスライスCTの利点とは・・・???

- (1) 高画質な画像が撮れる
従来のCTと比較すると同じスライス厚で撮影時間が大幅に短縮され、同じ時間でより詳しく検査することができます。そのため、より精細な画像が撮影でき、今まで見えなかった病変が鮮明に見えるようになり、立体画像も実物に近いイメージで描出できます。
- (2) 検査時間が短くなる
従来のCTより検査時間の短縮が可能になりました。例えば胸の場合では、約10秒息止めをしていただければ、検査は終了します。
- (3) 被曝が減る
従来のCTより検査時間が短縮できる事によりX線被曝量も低減され、より安心して検査を受けていただけます。



内臓脂肪測定ができます!!!

近年話題の『メタボリックシンドローム』の要素である内臓脂肪が測定できるソフトもこの度のCT更新と同時に導入しました。



『内臓脂肪の蓄積』『高血圧』『糖尿病』『高脂血症』の重複が動脈硬化のリスクを高めます。この機会に『内臓脂肪』を測定してみませんか？
検査費用は3,150円です。詳しくは受付窓口・放射線科に、お問い合わせ下さい。

病院機能評価更新審査に合格しました！

お知らせ



佐藤病院は財団法人日本医療機能評価機構の定める認定病院（審査体制区分1：一般療養100床未満）に平成19年10月1日付で認定されました。平成14年8月、病院機能評価認定を受けていましたが、このたび有効期限の5年間が経過したため、平成19年7月に認定更新のための訪問審査を受けました。

この受審にあたっては、前回の受審後より、現状を客観的に評価し、患者サービスの向上や診療の質の向上を図るために、職員の意識改革を図り、改善に努めてまいりました。その結果“一般病院や長期療養病院の機能を合わせもつ病院”として評価され、病院機能評価認定（Ver.5）の更新が認められました。今回の認定で7項目の改善事項の指摘がありましたので、平成20年7月までに改善を行います。

今後も、地域に開かれた病院として、また地域の皆様から信頼され、安心していただける病院として、更なる医療の質の向上に努め、より良い医療の提供を行ってまいります。

日本医療機能評価機構認定病院

医療法人 明芳会 **佐藤病院**



TEL : 086-263-6622
 FAX : 086-264-6769
 URL : <http://www.sato-hp.com>
 Email: info@sato-hp.com

佐藤病院グループ

医療法人 明芳会

老人保健施設 やすらぎ
 訪問看護ステーション ちゃいむ
 通所リハビリテーション
 居宅介護支援事業所

社会福祉法人 一耀会
 老人福祉施設 うららか

特別養護老人ホーム
 ケアハウス
 デイサービスセンター
 短期入所施設
 ヘルパーステーション
 在宅介護支援センター

株式会社 エス・エッチ・メディカル

グループホーム かえで
 介護付有料老人ホーム あいらの杜 福吉
 介護付有料老人ホーム あいらの杜 新保



編集後記

ねずみ年を迎え、この冬一番の寒さが到来し、岡山市内には珍しく、雪が積もりました。週の初めの出来事でしたが、送迎等々によるトラブルが、佐藤病院グループ内の施設で起こらなかったことは何よりでした。

今年一年、備え万全に職員一同、地域の皆さまの安心・安全な医療施設として努めて行きたいと思っております。今年もよろしくごお願い申し上げます。

* 今回、掲載させていただきました方々には氏名、写真等の個人情報に関してご了承いただいております。ご協力ありがとうございました。

広報委員会一同